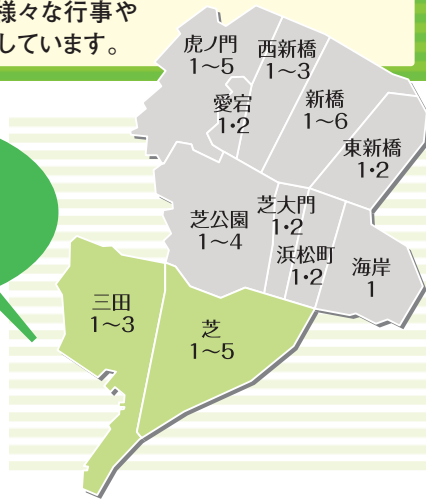


『芝地区地域情報誌』は、地域の皆さんとともに創る情報誌です。芝地区の「いい話」を紹介したり、様々な行事や活動の情報を交換したり、地域の皆さんと一緒に地域のことを考えていく場として、地域情報誌を発行しています。



第8号の表紙は
芝・三田
エリアの話題です

【芝歴史探訪】

演説とは英語にて 「スピーチ」と云ひ…

日本初の 演説会堂



『三田演説館』

国の重要文化財に指定されている三田演説館は、慶應義塾大学の三田キャンパス内にあります。

この建物は、福澤諭吉氏により建造された日本初の演説会堂です。明治8(1875)年の開館時は、まだ「演説」という言葉もありませんでしたが、西洋の事情に精通していた福澤氏は、「スピーチ」を「演説」、「ディベート」を「討論」と和訳し、数々の演説会を行っていました。初期には、聞く側も、決して笑いだしてはならないという約束のもと、演説したといひます。

建物は、福澤氏が在米中だった外交官に依頼して、図面を取り寄せて建設したものです。外装は和風の瓦葺、なまこ壁で、内装は教会のような洋風の、和洋折衷に設計されていて、文明開化の音がしていた当時の時代の空気が感じとれます。通常、内部には入れませんが、「三田演説会」「名誉博士学位授与式」などには実際に使用されています。

現在、修復しながらも当時のままの姿で使用され続けていることは、西洋に負けない近代国家へ近づくための国民への啓蒙活動の一環として、聴衆の前で演説することへの情熱が本物だったことの証ではないでしょうか。

演説館は、正門を入った小高い丘のたくさんの木に囲まれた場所にあります。

芝散策の際に、涼を求めて「演説」発祥の地を訪れてみてはいかがでしょうか。

(文・写真 ■ 小林 真紀子)



たくさんの木に囲まれた小高い丘に建つ三田演説館
(慶應義塾大学広報室提供写真)

info 慶應義塾大学 三田キャンパス
三田2-15-45
TEL 03-5427-1541 (広報室)
●キャンパスに入れる時間は8時半～17時(日祝休)

おめでとう 開校130周年!

芝の町の誇り

港区立『芝小学校』

「学校とは、地域の核、コミュニティとして大事にされる」という、港区立芝小学校の校長、榮 健先生のお言葉から、芝小学校が芝の町の誇りであるということが、とてもよくわかりました。

明治12(1879)年に開校した「芝小」は、地域の方々に支えられながら、今年で開校130周年を迎えます。その年月の重みは、日本の近代史を語るができるほどです。関東大震災、そして、戦争による大空襲で焼け野原となり、廃校になりそうになっても地域の方々の学校に寄せる思いで再開することができました。近年の急激な都市化の影響等により、子どもの数が減り、やむなく学校を統廃合する地域もありました。平成元(1989)年に、芝小学校も竹芝小学校と統合しました。しかし、様々な歴史をくぐり抜け、現在の芝小は279名もの児童がこの校舎で学んでいます。

今年の春に行われた運動会では、校庭に児童や保護者等を合わせて1,000人以上の人たちが一堂に会しました。

『祝130周年』の看板が掛かり、運動会の感動の余韻が残る校庭を見学させて頂いていたところ、ちょうど休み時間になり、のびのびとした児童たちが、校庭に続々と出てきました。標準服姿でも、竹馬や一輪車で遊び回る姿は、実にたくましく感じられました。運動では夏のプール指導で、「卒業までに1,000メートルを泳げるようになる」という課題があり、先生方の指導を受けることで、なんと8割も達成できるのだそうです。

取材する中で、児童たちが次々と、とても楽しそうに校長先生に声をかけてくる様子が印象的でした。そんな時、校長先生は一人ひとりの名前を呼んで、優



日当たりの良い2階にある校庭



国際科授業は思い思いの私服で受けます

しく応えてくれます。玄関ホールではオルガンを弾いている子もいたりして、学校生活に加え個性も大事にした自由な雰囲気、なんだか私自身も居心地の良い時間を過ごすことができました。

校舎入口には、ぴかぴかの宇宙船をイメージさせるメモリアルカプセルが置いてあります。将来、カプセルを開ける日、また新たな芝小の歴史が刻まれる瞬間がとても楽しみです。

(文・写真 ■ 桑原 庸嘉子)



2000年の在校生の20年後の夢を保管しました

info 芝小学校
芝2-21-3

ハッピーキャリア&ハッピーライフでいこう

働くあなたを応援する

『女性と仕事の未来館』

JR田町駅から徒歩4分のココ、女性と仕事の未来館。平成19年度の来館者数は158,000人、電話での相談件数はなんと5,000件を超えます。毎年1月に開かれる未来館フェスタには全国各地から訪れる人も多く、将来独立して起業を目指す人のための起業セミナーや、目的別キャリアアップセミナーも若い女性を中心に高い人気があります。

何かを始めたいけど何をしたいのか見つからない、人生模索中の人のきっかけ作り、自分探しの第一歩としてのココを訪れる人達も少なくありません。自分の才能を開花させたい！実力を高めて活躍したい！でも漠然としていて答えが見つからないなど、日頃の生活や仕事から離れて、新しい発見、チャンスを探しにぜひ一度、未来館を訪れてみませんか？

見る、聞く、調べる、学ぶ、寛く、色々な機能を兼ね備えた未来館で開催される能力発揮セミナーはあなたのキャリアをサポートしてくれ、情報収集の場としても使えます。



また、近年は女性の仕事に関する電話での無料総合相談の利用者も急増し、職場の人間関係、コミュニケーション、健康面、メンタル面、法律問題に関する悩みなど、多岐にわたり相談員の方によるアドバイスを受け、解決へと向かう人達も増えています。

特別相談では、個別にカウンセラーによるキャリアカウンセリングなど、自己イメージを明確化し、必要な情報サービスが受けられます。

法律相談では、人に話しにくいセクハラ問題などに女性弁護士がアドバイスをしてくれたり、健康相談では専門の女性医師が親身に相談に応じたりと、働く女性にとってとても心強い味方なのです。

他にもグループカウンセリング、コンサートなどのイベントの開催、女性と仕事に関するライブラリー、交流スペース、秋ごろにはカフェのオープンも予定されているそうです。また、ホールやセミナースペースの施設貸出もあります。

先鋭的なインテリアのこの施設、3階の展示室では働く女性の歴史、生活の変化に触れ、文化的な歩みを学ぶことで、働くことのストレスから解消され、ゆったりとした気分が過ごせたりと癒し効果も抜群！開放的で、魅力的な場所です。定期的に広報誌『未来通信』も発行されています。

未来館スタッフからは、「とにかく気軽に遊びに来てください！」とのメッセージが！

さあ、未来の自分を探しに行ってみよう！

〔文・写真 ■ 五十嵐 朋美〕



未来館のエントランス

info (財)女性労働協会 女性と仕事の未来館
芝5-35-3
TEL 03-5444-4151

- 開館時間/火～土曜 9時半～21時、日曜 9時半～17時半
 - 休館日/月曜(祝日の場合は月・火曜)、祝日、年末年始(12/29～1/3)
 - 相談受付/総合相談専用TEL 03-5444-4155 (火～金曜 10時～19時半、土・日曜 10時～15時半)
- ※詳細はホームページにも掲載されています
→http://www.miraikan.go.jp



展示交流サロン



働く女性のおゆみ展示

大正、昭和、平成…歴史をつないだ庶民の湯 三田『小山湯』

info 小山湯(開店)
三田1-11-2



「おかみさあ～ん！ 時間ですよ～」と、桶に石鹸を入れ、手ぬぐいを首に掛けて下駄履きのお客さんを迎え入れる声が聞こえてきそうな番台。

高窓から差し込む日差しに黒く輝く厚手の檜を使った格天井。大正10(1921)年から三田小山町の人たちとまちの移り変わりを見つめてきた小山湯も、惜しまれながらの閉店から1年以上がたちました。

関東大震災にも耐えた建物です。B29の空襲のときも、降り注ぐ火の粉を近所の人々が総出で消し止め、歴史をつないできました。そのときはなんと、水に浸した箒で降り注ぐ火の粉に立ち向かったそうです。地域に守られてきた小山湯も、長年の疲れを癒すように今はひっそりとたたずみ、周辺の開発に伴って解体される日待つばかりになりました。

今は使う人もいない洗い場に、底に「ケロリン」と書かれた黄色の洗い桶を見た瞬間、湯気が立ち込める洗い場で一日の疲れをさっぱりと洗い流すたくさんの人たちの笑い声が聞こえたような気がしました。



働く女性のおゆみ展示

山手線から見える！

“おねむりピカチュウ”を知っていますか？

ポケットモンスターが誕生したのは今から12年前です。日本の任天堂から、ゲームソフト“ポケットモンスター 赤・緑”として発売されました。発売当初から子どもの絶大な支持を受け、現在では日本の子どもだけではなく、世界中の子どもや大人たちにも人気があります。

この「ポケモンセンターウキョー」が浜松町の汐留浜離宮ビルディングにやってきたのは去年の7月でした。このポケモンセンターにより、今までは静かだったオフィス街の土日は今では多くの人が訪れ、とても賑やかです。梅雨の晴れ間のある日、私たちは浜松町のポケモンセンターに行ってきました。

店内は息をのむほど多くのポケモングッズで溢れて

います。入り口近くにはポケモンたちのぬいぐるみや小さなおもちゃ、奥の方には日用品や文房具、ゲームソフトや、それに関連したアクセサリなどがあります。また、レジ近くにはたくさんのガチャガチャも置いてあるのでコレクションが好きな方にはオススメです。

商品の中にはおもちゃ屋さんには置いていない“ポケモンセンターウキョーオリジナル”の商品もあります。現在はポケモンセンターオープン10周年記念のグッズが発売されています。初代の赤・緑のポケモンのグッズには懐かしさを感じる人もいるのではないのでしょうか…。

最近では、大学生や高校生といった初代ポケモン世代のお客さんも来るそうです。少し大人向けのスタイリッシュな商品も増えてきています。

また、ゲームに出てくる自動販売機を再現したものも置いてあり、体力を回復したい方にはぜひオススメです。

充実しているのは商品だけではなく、サービスがあります。誕生日をポケモンたちに祝ってほしい人は、誕生日の前後に自分の誕生日を証明



入店するとピカチュウ(中央)、ポッチャマ(左)、ヒトカゲ(右)がお出迎え

飲み物の自動販売機もポケモン一色です！

© 2008 Pokémon. © 1995-2008 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. TM and ® are trademarks of Nintendo, Creatures Inc. and GAME FREAK inc.



JR線からポケモンセンターがあるビルを見ると、スヤスヤ眠った大きなピカチュウが！夜19時に登場！

できるものを持ってお店に行きましょう。お店の人とDSのワイヤレス通信を使って大画面液晶でのゲームバトルをすることができ、なんとピカチュウたちがお祝いしてくれます！

多くの夢見る子どもたちはもちろん、ハリウッド女優やメジャーリーグの選手でさえもポケモンに夢中で、ポケモンセンターに来ているそうです。

〔文・写真 ■ 都立芝商業高校/高比良 美久、竹本 南〕

info ポケモンセンターウキョー
海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング2F
TEL 03-6430-7733
●営業時間/平日 11時～20時、土日祝 10時～19時(7月、8月は無休)
※8月の営業時間は10時～20時となります。

芝地区施設紹介

今も人や地球にやさしく進化する…

『世界貿易センタービル』

世界貿易センタービル(通称WTC)は日本で2番目の超高層ビルとして、昭和45(1970)年に浜松町に誕生しました。近年のOA機器の急激な増大は、使用する電力量の増加、そこから発生する熱を吸収させるために、入居しているテナントの使用電力量は増大しています。そこでWTCでは昭和60年頃から省エネ対策に着手。その先駆的な取り組みについてご紹介します。

WTCは現在、地上40階・地下3階・バスターミナルを有する別館5階、延床面積153,841m²、1日に訪れる人は約10万人(在館者含む)、電気・ガス等のエネルギー使用量は年間9,000kl(原油換算)と、まるで大都市のような複合用途の建物です。

その特筆すべき省エネ対策は平成5(1993)年に最新の空調機器を導入し、建物内の設備を全面リニューアルする等により、全館の使用電力量を20%程度削減に成功したことに始まります。

平成13(2001)年からは、さらなる省エネ対策として、コージェネ及び太陽光発電システムを組み合わせた「環境調和型エネルギー供給システム」に取り組んできました。

太陽光発電システムは平成13年の夏、“ブルーに輝くピラミッド”として別館屋上に完成しました。ピラミッドは高さ約12m、底辺が約25×40m、南の面積がやや広い形で、東西南北4面に太陽光発電モジュール約1,400枚を組み込んでいます。発電能力は80kw。年間発電量は約6万kwh。首都圏の建物屋上の太陽光発電システムとしては最大級です。

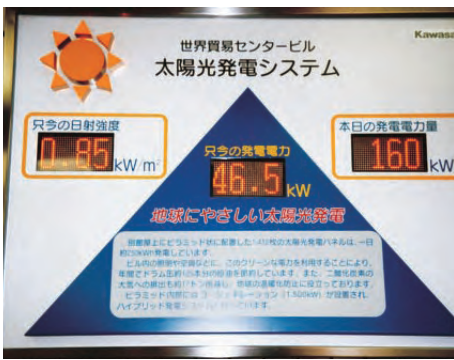
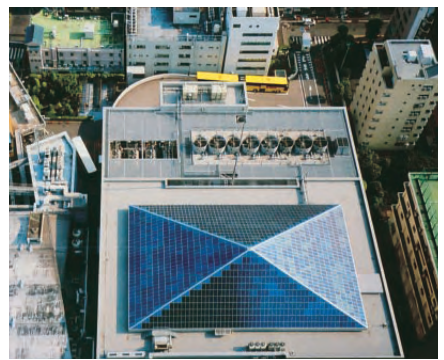
一方、コージェネとは、ガスタービン発電設備から発生した電力を建物に供給するとともに、

タービンから発生した高温の排ガスを回収し、蒸気や熱水を冷暖房の熱源とするシステムです。このシステムでは、通常大気中に放出する余剰蒸気を動力源として活用する等「トリプル利用化」を図っています。

その結果、総合効率75%というエネルギーの有効利用を実現しています。

しかし、この設備にはかなりのスペースを確保する必要があります。

(株)世界貿易センタービルディングの取締役石川敏行さん、施設管理部次長谷尾勇さんは、「別館屋上にピラミッド型の太陽光発電システムを設置し、その内部にコージェネ設備を取めることで、ピラミッドの表面では太陽の光を電気に変え、内部ではガスを燃やして電気を作り、余った熱も捨てずに再利用しているのです。都市環境に適応した斬新なデザインにより、ランドマークとして、また既築建物屋上の有効利用例として注目されています」と語ってくださいました。



また、「太陽光発電は、一般家庭約25棟分の1日の使用電力量、約12.4haの森林から排出される二酸化炭素吸収量に相当します。このコージェネと太陽光発電設備による省エネ効果により、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の発生量を2,100削減でき、ビルとして環境問題に取り組んでいます」と説明してくださいました。

この環境調和型ハイブリッド発電システムは各方面で注目を浴び、平成14年度省エネ優秀事例として資源エネルギー庁長官賞を、建築設備の維持管理に関係したBELCA(ベルカ)賞などを受賞しています。

WTCの省エネ対策はその後も、地下3階の下に28個の水槽を作り、2,300m³の水を溜め、その水を夜間電力で6℃前後に冷却してビルの冷房に使用したり、人感センサー機能付照明を導入したりして進化しています。「これからはバリアフリー化を進めるなど身体に障害がある方も利用しやすいビル環境を作っていきたいですね。入居者のニーズや社会環境にあわせてビルも進化しています。視界360°、高さ152mのダイナミックな景観で評判の40階展望台も、来年にはリニューアルの予定です」と力強く語ってくださいました。

〔文・写真 ■ 岩崎 秀顕〕

info 世界貿易センタービル展望台
浜松町2-4-1
TEL 03-3435-6026

- 見学時間/10時～20時30分
- 休館日/2月に1日休館
- 見学料/大人・高校生620円、小・中学生360円、幼児260円



大正12(1923)年5月生まれ…生まれてまだ4カ月で関東大震災になっちゃった。赤羽橋のこっちは1軒もつぶれてないんですよ。ただ家が曲がっただけ。三田通りは商店街も電車が通ったところもどこも何ともなかった。後で兄貴や姉に聞いた話はね、ひでえもんですよ。兄弟全部連れて赤羽小学校へみんな逃げたんだけど、

赤ん坊の私は2階に寝かされたまま、傾いた家に置いていっちゃったんだよ。夕方になって「あー、赤ん坊置いてきた」って、おっかさんがね。それ聞いたんで、絶対親孝行しねえぞって思ったね(笑)。

今の区役所の所、区役所の1階で軍医さんが来て徴兵検査を受けて昭和19(1944)年の12月に入隊し、舞鶴で三月なり四月訓練してからハルピンに行った。

当時の青年はね、徴兵検査の前からみんな銃は扱ってましたよ。夜、赤羽小学校で青年学校というのがあって、陸軍省から将校が来て、16歳から3年間、教えてくれるんです。実弾も撃ったりしてね。中国では南満州鉄道、満鉄の鉄道守備隊だった。ハルピンとチチハルの汽車の警乗、汽車の中の警備員ですよ。臨時憲兵の腕章つけてね。いつ鉄道爆破して襲撃されるかわからないから。実際の敵とは会ったことないけどね。

8月15日はハルピン…チチハルにいたかな? 玉音放送あるぞってんで、中隊長に言われて駅にみんな集まった。これで戦争終わるんだよ。帰れるよって喜んだ。「あ、終わった」ってみんな喜んでた。南京攻略戦で敗残兵の便衣隊の掃討に参加した話をしていた中隊長が喜んでた。そりゃアメリカにはかないこねえんだからって言っていた。

ハルピンで終戦になってからしばらくいると、ソ連軍に鉄道の転轍機とか書類や何か渡すまで、12月まで待った。私たちが12月にソ連に入ったんです。シベリア鉄道でハバロフスクからモスクワの手前までかな。ほとんど大陸横断ですよ。1週間ぐらいかかったかな。収容所から部落や国営農場へ手伝いに行って、そこで農作業ですよ。喜んでくれてね。それと食料が足りないで内緒でジャガイモや何かゆでてくれてね。そういうところ親切だったよ。また、零下25℃になると「作業やめ」と命令が来たの。食事は黒パンにボルシチ、豚や牛じゃないな…ヤギ肉が多かったな。ソ連の兵隊も一緒に来て同じものを食べていた。冬は川にサケが上がってくる。ソ連の兵隊と一緒にサケをとって、干して食べた。夏はいくらでも川っぶちに野イチゴや何かあるから、結構、どうにか食べてられた。だから、私のところはあんまり死ぬ人はいなかったね。シベリアには昭和23(1948)年まで3年間いましたよ。短いほうだったよね。でも、徴兵検査のときは体重が58キロあったのに、帰ってきたときは45キロくらい。で、また戻って55キロくらいになった。今、年とって40何キロになっちゃった。

私の友達は戦争で死んだのは少なかった。私の弟くらい。あれは戦病死でね。弟は郵便局に勤めていたの。どこか中国の奥のほうの軍事郵便所で帰れなかった。かわいそうだよ。私の友達、みんな帰ってきたね。無事にね。よかったよ。

終戦後もシベリアで抑留生活、戦友みんなが帰ってきてきて本当によかった。



撮影：林 忠彦「復員、品川駅」昭和21(1946)年(©林忠彦作品研究室)
【写真解説】はやしただひこ、大正7(1918)年~平成2(1990)年、山口県出身。昭和を代表する写真家の一人。太平洋戦争後の日本の風俗や文士、風景など多岐にわたる写真を撮影した。報道カメラマンとして敗戦を北京で知った林氏は昭和21(1946)年5月、嵐の中を米国の上陸船艇に乗り帰国した。家族は一人残らず疎開していたという。東京にたどり着いた林氏は、変わり果てた街の姿を撮り続けた。品川駅の復員兵の表情は、まさに戦地から本土へ無事に帰還した人たちのありのままを写し出している。

8.15 終戦の日 特集

芝地区在住者の戦争体験を集めました

昭和20(1945)年8月15日、玉音放送のあったその日、わが国にとって終戦の日です。

終戦を迎えるころ、港区域は、連日にわたり空襲を受けて区域の大半が焼失し、当時の芝区では、77,000人余の人が被災しています。

終戦を迎え、都は自治権の基盤強化と戦後復興への対処を目的と

して区域の再編成を行うことになり、昭和22(1947)年、芝区、麻布区、赤坂区の3区が統合し現在の港区が誕生しました。

終戦、そのショックから立ち直るべく、貧しくとも希望にあふれていた日本。それは焼け野原からの復興です。戦争体験者の話に耳を傾け、あらためて過去を振り返り、平和であることの尊さを考えたいと思います。



生涯学習センターに集まっていた「語り部の会」の皆さん

港区「語り部の会」(※参照)の皆さんにお聞きしました

戦火を避けるため、家族から離れて学童疎開

※「語り部の会」のメンバーは「生涯学習センター ばるーん」(新橋3-16-3)で活動しています。また、港区の小学校の依頼で戦争体験の話、昔の暮らしや遊びなどを話して聞かせるなど幅広く活動しています。

【学童の立場としての記憶】

- 子どもの頃から新橋に住んでいて、国民学校は桜田に通いました。昭和16(1941)年に始まった太平洋戦争は、誰もが戦争に勝つことを願っていて日比谷通りを騎馬隊が行進するときは、にんじんと水を持って馬と兵隊さんに感謝をしに出かけました。
- 昭和18(1943)年4月に桜田国民学校に入学した当時から、毎朝アメリカ軍の飛行機による爆弾の投下から身を守るために学校の地下に造られたコンクリートの防空壕に逃げる訓練

をして、それから勉強をしました。通学のときは防空頭巾をかぶり毎日を過ごしました。

● 戦争の状況が激しくなり、子どもたちが東京の学校で勉強を続けることが危険になってきました。芝地区の小学校3年生以上の子どもたちは、栃木県に疎開をしました。南校国民学校は鬼怒川温泉が指定されました。空襲の危険のない安全な場所で生活や勉強ができるようにとはいいつつも、親や家族と離れて暮らすのはとても寂しく辛いことでした。自分たちはともかく、子どもの命だけはなんとかして

も守ろうとしている親の気持ちを考えると、悲しくても我慢しなければいけないと思いました。

● 昭和19(1944)年8月から疎開生活が始まりました。最初は食べる物もきちんとしていたけれどだんだんと汁一菜になり、ごはんのなかにさつま芋や大根が混ざるようにしました。冬になると温泉で温まっても帰り道が寒くて身体が冷え、なかなか眠れないことが続きました。こんなときは東京に帰りたくなくて布団の中で泣きました。

【教師の立場としての記憶】

- 南校国民学校の教諭になってすぐ、6年生の引率で鬼怒川の疎開先にいきました。疎開先で子どもたちが安心して生活できるようにと毎日子どもたちを励ましなが見守っていました。寂しくて親にどうしても会いたい気持ちがあつたので、東京に帰る相談をして疎開先の宿舎から逃げ出した子どももいました。毎日、ほとんど寝ていない状態でした。子どものために思い、心を鬼にして大変厳しいことを言うてしまうこともありました。



「その目で見られると寒けがする…」
命のやりとりをした私の目は変わっていた。

生まれは大正14(1925)年10月、東京市芝区三田四国町です。慶應仲通りあたりだね。

徴兵検査を芝区役所(今の港区役所の場所)の3階で受けましたよ。我々は戦時特例で、普通だったら20歳で徴兵検査を受けるやつが19歳で受けて、もうすぐですよ、中国行ったのが。野戦で現地教育ということですよ。現地に行って、この訓練というのが死ぬかと思うくらいですよ。もう寝るも寝られないし、徹底的ですよ。

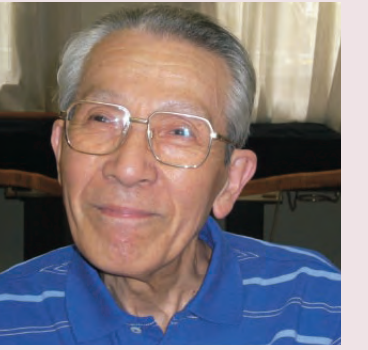
戦闘部隊一中野部隊が強かったんですよ。その僕は無線手で、年中お付きでついて行った。同年兵39名いるんですが、戦闘に参加したのは僕とタケイってやつだけ。戦闘が激しいとこね。戦争が終わったから私は命を永らえたいけれども、運ですよ。帰ってこられたのは。立ち小便しているときにまたの下狙撃されて、ひっくり返ったしさ。それから陣地がちょっと崩れているんで、部隊長と一緒にやっているとき、ぴかぴか光ってる部隊長が下からほんとに打たれて…そんなこともあったし。ほんの何センチくらいで生き死にが分かれちゃうんだからね。

昭和20(1945)年8月、戦闘した場所から一晩かけて引き揚げてきたところの場所で終戦なんですよ。河南省の一点だということはあるんだけど。京漢線の許昌というところから東へ4日ばかり入ったところですよ。休戦である、戦いがお休み。その次は終戦である。それから捕虜になった。敗戦である。こういう順序立ててね。休戦、終戦、敗戦、捕虜。そして、昭和21(1946)年に佐世保に帰ってきました。

ようやく東京にたどり着いたけど、近所のおばさんと娘さんにおれは嫌われちゃった。私の顔を見なくてくれといって、寒けがすると、その目で見られると…。命のやりとりをやってきたから、自然に目がそうなんじゃないですか。ほんとに毎日、毎日、そうだったからね。

僕が復員してきた日の夕方、うちのすぐ下の弟がうちへ友達を連れてきたんですよ。その友達と二人っきりになって10分ぐらいたら、その友達の尻がむずむずしているんだよ。「用があるのか」って訊いたらそうだった。弟に友達と一緒にいったほうがいいよと言って帰しちゃった。弟が戻ってくるなり「兄貴、お前、何をしていたんだ」というの。何もしていないよと言ったら、「あいつは海軍の元特攻兵で、自分が今までどんなことをされても屁でもないと言っていたのに、お前のところの兄貴の目を見たら、気持ち悪くていられなかったと言っていた。だから、何をしていたんだ?」と言うから、何もしてないよ、ただ戦争してただけと言ったんです。

やっぱりそのぐらい気持ち悪い目をしていたんだね。まあ、野戦帰りで、ほんとに戦っていた連中というのはそういう目になっちゃうみたいね。本当はこんなにおとなしい男なのにねえ…。



ロバの音楽座 コンサート

in 福祉プラザさくら川



6月18日(水)、福祉プラザさくら川で、新橋児童館事業の一風変わったコンサートが開かれました。見たこともないような楽器を演奏するのは「ロバの音楽座」のメンバーたち。さすらいの旅人風の衣装を身にまとった4人のメンバーが心地よいメロディを奏で、会場はファンタジーとメルヘンの世界に包まれました。

ロバの音楽座では、何でも楽器になります。たった2枚の厚紙や、新聞、自転車のベル…これらのもが、ロバの音楽座メンバーの手にかかると愉快な音を生み出します。観客は聞いたことのない不思議な音色に釘付けの様子でした。

めずらしい楽器もたくさん登場しました。「ギター之父」といわれるリュートや、パイプが何本も束ねられているパンパイプなど。特に、ビヤボンという楽器の「ポヨーン、ピヨーン」という間のぬけた音に子どもたちは大喜びでした。

コンサートの終盤では、ロバの音楽座のメンバーと共に観客が体を使ってリズムをとり、会場全体が一体となってフィナーレを迎えました。使い道のないものがらくたでも、ちょっと工夫を凝らせば素敵な音色を奏でる自分だけの楽器に大変身するかもしれません。そんな音楽の無限の可能性に、観客の皆さんも魅了されたことでしょう。

福祉プラザ さくら川
新橋6-19-2
TEL 03-3433-0180

※ロバの音楽座のHPは→<http://www.roba-house.com>

トピックス

やめよう！ 歩行喫煙キャンペーン

決められた場所以外では吸わないで！



芝地区では、生活安全・環境美化活動推進協議会の活動の一環として、「やめよう！ 歩行喫煙キャンペーン」の取り組みを実施しています。

去る6月17日(火)には、虎ノ門駅周辺から内幸町駅周辺にかけての一带で、キャンペーン活動を実施しました。

地域の町会・自治会からの参加や、取り組みの主旨に賛同をいただいた事業所の参加によって、総勢97名が集まり、主要な交差点付近など各ポイントに分かれて啓発や清掃の活動を行いました。

「やめよう！ 歩行喫煙キャンペーン」の取り組みは、今後も浜浜町駅〜大門駅周辺、田町駅西口〜三田駅周辺、新橋駅周辺、神谷町駅周辺で実施していきます。

歩行喫煙・路上喫煙をなくすためにマナー向上を訴えて、生活安全・環境美化活動推進協議会は町会・自治会の皆さんとともに活動を続けています。

港区を清潔できれいに、安全に過ごせる街にするための取り組みに、より多くの事業所の皆さんが賛同して、参加されることを期待しています。



清掃活動で集められたゴミ



街なかで清掃活動をする参加者



住友信託銀行虎ノ門コンサルティングオフィスの皆さんは、マスコットキャラクターを作って参加してくれました

芝地区の風景

私の社会人生活は港区新橋で始まり、今もここ新橋が続いている。働く中で苦しいこと、情けないこと、くやしいこと、ツライ気持ちが吹き飛ばくらしいことがあった。その中で忘れられない場所が2つある。

どれも営業として芝大門1・2丁目を担当していた時のものだ。飛び込み営業を基本にやっていたため、断られれば断られるほど自分の無力さを痛感した。しかし、自分の理想はもっと高いところにあり、そこにたどり着けないもどかしさが心にもあった。

そんなある日、同期の仲間と東京タワーへ集合し、息抜きをしたことがある。展望台から景色を眺めながら、人間は

なんてちっぽけなんだらうと思った。急に自分の悩みがちっぽけに思え、なんとかなる気がした。加えて仕事の悩みを話してみると、みんな同じ気持ちの中で頑張っていた。ひとりじゃない。それがどんなに心強かったことだろう。「目指す理想は違うけど、お互い理想に向かって頑張ろう！」と励まし合った。

そしてもう1つが増上寺だ。なかなか受注が取れず悩んでいた私は、営業に向かう朝、増上寺へお参りをした。沈みがちな気持ちを無意識にリセットしたかったのだと思う。お参りをすると気持ちが落ち着き、元気が出てきた。「よし！頑張ろう」と営業に向かう私を照らす太陽と青い空。応援してくれている気がした。すると、なんとその日に受注が取れたのだ。そんなことはそれ以後なかったが(当たり前!)、神様に感謝すると同時に、あの晴れた朝の風景は忘れられない。

毎朝、新橋駅を降りて仕事に向かう。この駅を使う社会人それぞれに沢山の思い・経験があると思うと、みんなが働く同様に思ってしまうから不思議だ。ひとり勝手に親近感を抱き、「今日も1日、頑張ろう！」と心の中で叫ぶ私である。

〔文 ■ 鈴木 あかね〕



忘れられない2つの風景

港区で楽しむアート

アンティノウス像と開運狸

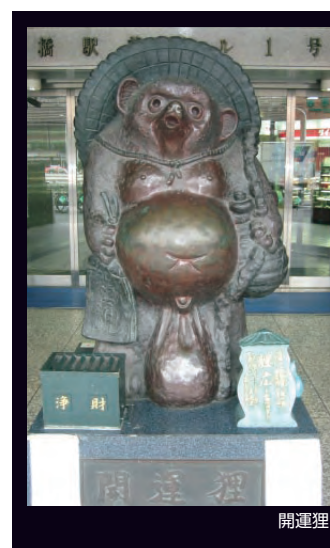
今回は全く趣の異なる2体の像、すなわちローマ彫刻と、愛くるしい狸像をご紹介します。

交通量の激しい新橋・日比谷通りから、松岡田村町ビルのロビーに入ると外の喧騒が嘘のように静寂に満ちたアート空間が広がる。ここでは実業家・松岡清次郎(1894~1989)が収集した1体の立像彫刻・アンティノウス像を鑑賞することができます。3メートルはあろうかという巨大なローマ期(2世紀初め)の彫刻である。

アンティノウスは、ローマ皇帝ハドリアヌス(在位117~138年)の美しい小姓かつ勇猛な戦士であったが、アレクサンドリア郊外のカノプスで水死したことを帝は悲しみ、彼の思い出のため多くの大理石像を建てた。ローマ近郊のティヴオリの離宮には彼に捧げた建物「カノプス」を造った。本像はヴァチカン宮殿にある1体とともに1778年頃オステリアで発見されたものである。人間の肉体の美しさ、その精緻な躍動感を感じるのことができる見事なローマ期のオリジナル彫刻である。ギリシアの模倣でしかなかったローマ彫刻が、独自の境地を切り開いたのをこのアンティノウス像に見ることができる。ローマ創成期の彫刻は、アウグストゥス帝の像など、その権力にふさわしく外面の理想化の傾向があった。しかし、ローマ帝国の絶頂期を迎えたこの時代にあつて、理想化に飽き足らず、内面の精神をより浮き彫りにしようとした。同じくアンティノウス彫つた像は、エルミタージュ美術館やヨーロッパの美術館でも目にすることができる。ここでも我々は彼の深い精神性を感じることができるだろう。



アンティノウス像



開運狸

次に、新橋駅東口、新橋駅前ビルにいたる狸像をご紹介します。タクシーで「新橋駅前の狸の彫刻の所へ」と言うと、ほとんどのドライバーが「えっ、どこですか」。この彫刻、いや下町らしく狸の置物と云うべきか、渋谷駅前都011バス停のある駅前ビルの入口に、かなり大きく、のんびりとやや上向きにテーンと鎮座している。どうやら時に姿を消しているのか。

江戸末期から大名屋敷片隣のこの地に棲みつき、人をしてここを狸小路と呼びせしめた立派な古狸で、明治5年(1872)に汐留に鉄道新橋駅ができるに及んで逃げに生き抜き、戦後焼け野原にマーケット、その後駅前ビルに変化しても、まだまだこの人々の心の中に住みついていた様である。駅前ビル建設後、それを顕彰してか、この置物を建立した。

この狸、「御開運」を祈る大福帳を掲げ、全国津々浦々の皆様のご来訪とご開運を願っている好漢、いや好々狸である。「おやじの街」新橋にふさわしい狸親爺で、姿が有るの無いのか、確かめて頂くために御身足をお運びください。

〔文 ■ 小知和 千佳子・森 明 / 写真 ■ 小知和 千佳子〕

Info 松岡田村町ビル 新橋5-22-10
新橋駅前ビル 新橋2-21-1

●資料提供 / 松岡美術館、新橋駅前ビル狸像碑文
(松岡美術館では、松岡清次郎氏収集の美術コレクションを鑑賞することができます。お問い合わせは港区白金台5-12-6 TEL 03-5449-0251)

大使館で取材した郷土料理 ⑤

じっくり漬け込んだジャークシーズニングが味の決め手



Jerk Chicken

カリブ海に浮かぶ常夏の島・JAMAICA(ジャマイカ)から地元を代表するレシピをご紹介します。お話は愛宕1丁目にあるジャマイカ大使館で臨時代理大使を務めるアンジェラ・ローズハウエルさんに伺いました。レゲエに湧く陽気なこの国を訪ねたことのある人なら一度は口にしたいことのある料理、ジャークチキンです。



【材料】(12人分)

チキン(全)	3羽(各半分に分ける)
にんにく	6片(みじん切り)
●ジャークシーズニング(この材料の組み合わせが、ジャーク独特の味をつくる)	
ピメント	小さじ2(挽いたもの)
ナツメグ	小さじ1/2(すりおろしたもの)
メース	小さじ1/2
塩	小さじ1
砂糖	小さじ1
タイム	小さじ2
黒コショウ	小さじ1
エスカリオン(ネギ)	1と1/2カップ
玉ネギ	2個
スコッチポテトペーパー	2個
油	大さじ2

【作り方】

- 1 チキン3羽を半分ずつに切る。チキンをライム水の中ですく。水をきって、にんにくで風味をつける。
- 2 ジャークシーズニングの材料を全部ブレンダーかフードプロセッサーに入れの。ピメントは、フライパンに大さじ1杯の油を入れ、粒をカリカリになるまでいためてから焼く。
- 3 にんにくで味をつけたチキンにジャークシーズニングをかける。約2時間〜一晩このジャークシーズニングがしみこむように漬けておく。
- 4 バーベキューグリルに火を入れ、炭が白くなったのを確認してからチキンの皮を下にして置く。チキンが焦げ過ぎないように返し続け、じっくり焼く。
- 5 適当な大きさに切り分ける。残ったジャークシーズニングを添えてもよい。



★写真の皿のように、細長くした揚げパンのFESTIVAL(フェスティバル)、豆とココナツミルクで炊いたご飯(ライス&ビーズ)もジャマイカ名物です。ジャマイカを訪ねたぜひ味わってみてください。

★「ジャークシーズニング」も日本の一部スーパーで販売されており、本場の味を家庭で気軽に再現できるようにになりました。レゲエの音楽がそとで聞こえてきそうです。

〔文・写真 ■ 小知和 千佳子〕

芝地区MAP

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。ウォーキングマップとしてご活用ください。

- 1 三田演説館(慶應義塾大学内) 1P
- 2 港区立芝小学校 1P
- 3 女性と仕事の未来館 2P
- 4 小山湯 2P
- 5 ポケモンセンタートウキョー 3P
- 6 都立芝商業高校(取材した高校生の在学校) 3P
- 7 世界貿易センタービル 3P
- 8 生涯学習センター ばーん 4・5P

- 9 福祉プラザさくら川(コンサート会場) 6P
- 10 東京タワー 6P
- 11 増上寺 6P
- 12 松岡田村町ビル(アンティノウス像) 7P
- 13 新橋駅前ビル(開運狸) 7P
- 14 ジャマイカ大使館(レシピ紹介) 7P
- 15 区立芝公園(「ふれあいまつりだ、芝地区」会場) 8P
- 16 JHP・学校をつくる会(国際ボランティア・カレッジ受講者募集) 8P
- 17 愛宕警察署(犯罪被害者ホットライン) 8P

第3回 ふれ愛まつりだ、芝地区!

開催のお知らせ

●テーマ

区立芝公園の緑の中で「平和の灯」を囲み、芝地区の誰もがもっと地域に愛着をもち、ふれあい、親しむとともに、「土（環境）」と「平和」を考える。

●目的

芝地区をみなさんに知って親しんでもらうために、地域のみなさんが参加し、地域との交流を行い、区立芝公園で楽しい1日を過ごします。芝公園周辺は、さまざまな樹木を植えるなど自然の復元に努めています。また、公園内には、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、「平和の灯」が設置されています。地域のみなさんとともに、「環境」と「平和」について考え、メッセージを発信していきます。

●会場

区立芝公園(芝公園4-8-4) **◎入場無料**

●期日

9月6日(土) 10:00～19:00 (小雨決行)

●エコ&オーガニック

9:30頃～ 朝市 安全安心有機野菜の即売会
11:15頃～ 高木美保さん エコライフトーク

●一部(朝・昼) 10:00～15:00

- 地域ふれ愛マーケット
- 地域ふれ愛コンサート

●二部(夕・夜) 16:55～19:00

- ジ・アース&ピースコンサート

◎出演ミュージシャン

杉田二郎さん
白井貴子さん
ラティール・シーさん



●問い合わせ先 芝地区総合支所地区政策課 TEL 03-3578-3191

「みなとコール」は暮らしの疑問にお答えします!



区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。
年中無休/午前7時～午後11時
※英語での対応もいたします。

ゴヨウ(は)ナーニ ミナト(コールです)

TEL 03-5472-3710
FAX 03-5777-8752

Eメール: info@minato.call-center.jp

警視庁犯罪被害者ホットライン

被害者や家族の相談窓口です。

迷わずに
勇気を出して
相談してください



匿名でもOK 秘密厳守 お気軽に

TEL 03-3597-7830
FAX 03-3592-6840

愛宕警察署

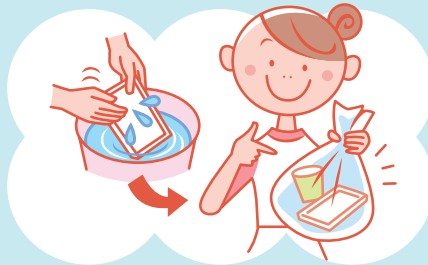
ごみの分別、収集回数が変わります!

10月1日(水)から、港区全域でごみの分別が変更になります。

ごみの分別

不燃ごみの分別が変わります。

すべてのプラスチックを「資源プラスチック」として資源回収します。また、「ゴム・皮革製品」と「汚れの落とせないプラスチック」は可燃ごみになります。プラスチックは、水でさっと洗って汚れを落とし、中身の見える袋で出してください。



収集曜日・時間

収集曜日は変わりません。

資源プラスチックの回収が週に1日追加されます。また、不燃ごみの収集は、週に1回から月2回に変更となります。また、すべてのごみ・資源は、朝8時までに集積所に出してください。

その他

詳しい説明をお聞きになる場合は、町会、マンションなどの単位で、個別説明会「だすと出前説明会」を行っています。また、9月中には収集曜日をはじめとした詳しい資料を、全世帯に配布する予定です。

●問い合わせ先 清掃リサイクル課事業計画係 TEL 03-3450-8273
●説明会の申し込み先 みなと清掃事務所 TEL 03-3450-8025

学生・社会人の皆さん!

国際協力実践講座に参加しませんか?

小山内美江子さんが代表を務める「JHP・学校をつくる会」では、小山内代表の国際協力に対する理念と経験、またJHPが活動するカンボジアに関する知識を生かして、国際協力や国際理解、NGO等の理解に役立つ講座、カンボジア研修など、学びと体験の場を提供する「国際ボランティア・カレッジ」を開催しています。現在、第3期生を募集しています。

【日 程】平成20年9月13日(土)～平成21年3月28日(土)

【参加条件】18歳以上

【定 員】30名

【主催団体】JHP・学校をつくる会

【開催場所】港区内施設・カンボジア研修

●問い合わせ先

JHP・学校をつくる会 国際ボランティアカレッジ事務局(担当:池谷・木村)
港区浜松町1-25-11 宮下ビル4階
TEL 03-6411-5261 FAX 03-6411-5262
E-mail college@jhp.or.jp
【参考URL】http://www.jhp.or.jp/college/index.html

9.26(金) 芝地区の「防災フォーラム」(仮称)を開催します

●テーマ

- (1)芝地区で地震が起きた場合に、超高層ビル自体の危険性といういろいろなビルの被害と周囲に及ぼす危険性について
- (2)日頃からの高層ビルの防災対策と周辺住民との協力・連携について など

●内容

- (1)講演
- (2)地域の活動団体によるシンポジウム
- (3)質疑
- (4)講師まとめ

●開催日時・場所

- (1)9月26日(金) 午後7時～9時
- (2)港区役所 9階大会議室

参加無料 当日直接会場へ 定員150名(先着順)

●主催 芝会議

●共催 港区芝地区総合支所地区政策課

●問い合わせ先

芝地区総合支所地区政策課 TEL 03-3578-3191

～昭和30年代のあたたかいコミュニティづくり～

いよいよ、芝地区総合支所の「昭和の地域力再発見事業」が始まります

昭和の地域力再発見事業とは、昭和30年代にあったようなあたたかい人と人とのつながりの再生を目指している事業です。

芝三丁目界隈に誰もが自由に入り出ることができる、昭和をイメージした地域の方々の交流拠点を地域の大学との協働により設置し、その拠点においての次のような様々な活動を通じて、世代を超えた交流を図り、子どもも高齢者も安心して暮らせる地域づくりを進めます。

9月に交流の拠点がオープンする予定です。お楽しみに。

地域交流拠点

地域のいろいろな話題を伺ったり、様々なイベントを行ったりします。お茶を飲んで、ちょっと休憩もできます。

- ◎駄菓子屋 ◎子どもの勉強部屋 ◎貸本ライブラリー ◎打ち水
- ◎昭和コミュニケーション+現代の技術 ◎シンポジウム ◎展覧会

地域見守り隊

安全・安心なまちを目指し、団塊の世代、地域の学生などによる地域活動の仕組みづくりを行います。

- ◎子ども見守り隊
- ◎高齢者の底力隊
- ◎外出サポーター

環境整備

路地裏などをコミュニティの場として活用する仕組みづくりを行います。

- ◎井戸、ピオトープ
- ◎緑台
- ◎天水桶

緑台を預かってくださる方を募集しています

●問い合わせ先 芝地区総合支所地区政策課 TEL 03-3578-3191

作品募集

芝地区「心の風景」の写真を募集します

皆さんの心に残る場所・大切にしたいものは何ですか? 昔から変わらない路地裏、思い出の場所、これからも残したい芝地区のいいところ……写真を募集します。ご応募は芝地区総合支所地区政策課(TEL 03-3578-3191)まで。お待ちしております。

芝地区地域情報誌・編集委員を募集しています!



芝地区の話題を発掘し、取材していただく地域情報誌・編集委員(記者)を募集します

【対象】芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人

【内容】地域の話題の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年間4回発行予定)1回の取材などで平日の昼夜間に2時間程度、平日夜間に発行予定ごとに1回編集会議への参加があります。

【申し込み】氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所地区政策課まで、FAXまたは郵送で申し込みください。

【その他】報酬等の支払いはありません。

★本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
五十嵐朋美/岩崎秀顕/大澤佳枝/桑原庸嘉子/小知和千佳子/小林真紀子/鈴木あかね/森明

★また今後の発行スケジュールは次の通りです。
H20.11.20発行(第9号)、H21.2.20発行(第10号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、区内各施設にて配布しています。

港区芝地区総合支所地区政策課

所在地:〒105-8511 東京都港区芝公園1丁目5番25号(港区役所2階)
TEL:03-3578-3191 FAX:03-3578-3180
ホームページ: http://www.city.minato.tokyo.jp/sisyo/siba/